



Riishiri

博物館だより

リイシリ

令和6年
360号

発行：利尻町立博物館

住所 〒075-0311 北海道利尻郡利尻町仙志字本町136
電話 0163-85-1411
FAX 0163-85-1282
e-mail riishir@museumtown.riishiri.hokkaido.jp

5/3
金・祝

春の探鳥会

日時

5月3日（金・祝）

午前8時～9時

集合場所 森林公園 駐車場

開催場所 森林公園

内容

春は鳥たちが南の越冬地から北の繁殖地まで移動する「渡り」の季節です。繁殖のために利尻へやってきた鳥や、さらに北の繁殖地まで移動する旅鳥の姿を見ることが出来る野鳥観察がとても楽しい季節です。この探鳥会では春の森を散策しながら、鳥たちを探します。初めて野鳥観察を行う方には、双眼鏡の使

持ち物

・ 筆記用具

・ 観察道具（双眼鏡やカメラ、図鑑など）

・ 暖かい服装（朝の冷え込みにも対応できる服装、肌が露出しないものを推奨）

・ フィールド散策に適した靴

※ 双眼鏡は貸出用のものがありますが、数に限りがございます。ご希望の方はお申込み時にご相談ください。

申込み

定員は先着10名。

締切は4月26日（金）。

その他

雨天・悪天時は中止します。

5/8
START

第四回移動展示 離島航路所蔵資料

場所および期間

交流促進施設「どんと」

5月8日～5月13日

仙法志支所

5月15日～5月17日

5月20日～5月22日

時間

午前10時～午後4時

内容

日本海に浮かぶ利尻島は、稚内や小樽と船で結ばれ、人や物の移動が行われてきました。今回の移動博物館では、これまで博物館で収集・保管を行ってきた「航路」に関する資料の展示を行います。昨年ご寄贈いただいた仙法志駅の看板のほか、写真などの展示を行う予定です。懐かしい資料や写真を閲覧し、かつての船や港の思い出を振り返ってみませんか。

お知らせ

利尻研究43号出版！

期間中は学芸員が展示エリアにいる時間帯もあります。当時の思い出やご家族から聞いた情報、展示のご感想など、みなさまのお話もお伺いできれば幸いです。

利尻研究は当館が出版する研究紀要です。利尻島をはじめとする道北地区での調査や研究の成果を分野に問わず掲載しています。今号は鳥類や昆虫、植物などの観察記録のほか、当館所蔵資料に関する報告を含む14報を掲載しています。博物館で冊子体の閲覧、購入が可能なほか、ホームページからも閲覧できます。少し難しそうにも感じますが、写真などの図版を眺めるだけでも楽しむことができますので、ぜひ利尻島やその周辺での新発見に触れてみてください。

博物館の道具箱 7
くらしに寄り添う手ぬぐい

近年、お土産などとしても定着している手ぬぐい。タオルやハンカチのほか、ふきんや日よけなど、様々な用途で用いられてきました。当館も数点の手ぬぐいを資料として所蔵しています。利尻島に関連する資料は少なく「道立公園利尻島」と書かれたものなどを所蔵しています。そのほかは島外の商店などの名前が入ったものも多く、当時からノベルティなどとして親しまれていたと想像されます。みなさんのおうちにも眠っている手ぬぐいはありませんか？



「道立公園利尻」と書かれた手ぬぐい。カラフルな色使いで、昆布を干す様子や束ねられた昆布が描かれています。

お知らせ

博物館の開館状況

当館はこれまで月曜と祝日の翌日を休館日とし、7～8月の夏季については休館日を設けていませんでした。しかし、昭和55年開館と開館から40年以上経過し、建物の老朽化が進んでいるほか、近年の気候の変化により夏の気温や湿度の上昇により、所蔵資料の湿気やカビの問題が深刻になっております。そこで、今年度から、7月と8月にそれぞれ一日ずつ休館日を、5月と10月に臨時休館日を設け、博物館施設や資料のメンテナンスを行うこととなりました。また、災害の発生時や気象警報の発令時、島内の道路状況が悪い場合など、利用者みなさまに安全にご来館いただくのが困難であると判断した場合には、予告なく休館いたします。当日の開館状況につきましては、当館公式ホームページをご確認ください。

ツチクジラ、漂着



利尻富士町二ツ石にツチクジラが漂着。博物館でもクジラの体長などの測定や寄生虫の観察などを行わせていただきました。全長約9mと迫力がありました。

観察会や講座の オンデマンド活動を開始

当館では探鳥会や磯の生き物観察会など様々な観察会や標本実習会などの講座などを開催してきました。

今年度からは当館が指定したテーマについて、参加者のご希望やご都合にあわせたオンデマンド形質でも観察会や講座などを実施する予定です。テーマや申込方法などの詳細は次号以降の博物館だよりに掲載予定です。

群来の季節

今年は何度もニシンの群来が起きているようで、卵がたくさん流れ着いている浜もありました。博物館では群来の発生状況を記録しているので、見かけた方はお知らせいただけると嬉しいです。



傷病鳥保護

2024年2月～4月は2件の対応を行いました。

・ ジョウビタギ、4月3日、蘭泊、佐藤和久さん

・ カワラヒワ、4月10日、種富町、佐藤里恵さん

リイシリ購読・閲覧

利尻町内の方には無料でお届けしています。町外の方は1部につき郵送料84円のご負担で定期購読が可能なほか、メール配信も行っております。定期購読については当館までお気軽にお問い合わせください。

なお、本誌は博物館のホームページでも閲覧可能です。最新号のほか、過去2年分のバックナンバーも公開中です。下のQRコードからアクセスしてください。



スマホで
アクセスできます！

